

# 【団体支援寄附】

—全 8 事業—

## ① 自立援助ホームあらんの家&amp;ミモザの家のスタッフ研修②ワークショップ(スワッグ講習会)交流会

## 青少年の自立を支える奈良の会

## 実施目的

- ① 自立援助ホームで暮らす児童(犯罪経験者、軽度知的障がい、発達障がい、虐待、鬱病、境界性パーソナル障がい、自死念慮、自傷行為、てんかん、高次脳機能障がい、薬物・ギャンブル依存、愛着障がい、迫害体験によるPTSD)に対応するため、新採用スタッフの支援スキルを高める。
- ② ワークショップ交流会(スワッグ講習会)にて自立援助ホームを卒業し、社会人として自立しているケアリバー(社会養護経験者)の居場所と出番となる場の手影響。

## 実施内容

- ① 自立援助ホームあらんの家&ミモザの家のスタッフ研修:発達障害児への支援スキルを高める研修 2024年11月21日(木)13時~17時
- ② ワークショップ交流会(スワッグ講習会)にて自立援助ホームを卒業し、社会人として自立しているケアリバー(社会的養護経験者)の居場所と出番となる場の提供。

## &lt;期間&gt;

2024年10月1日~2025年3月31日

## &lt;場所&gt;

- ① 自立援助ホームあらんの家&ミモザの家 多目的室
- ② 新大宮駅「とらいあんぐる」

## &lt;対象&gt;

- ① 新採用3名のスタッフ(25歳~26歳)女性2名、男性1名
- ② 自立援助ホームで暮らす児童及び退居した子ども若者

## &lt;スケジュール&gt;

2024年11月 尾崎先生の研修  
2025年1月 繁昌先生 第1回研修  
2025年2月 繁昌先生 第2回研修  
2025年3月 本間先生 研修  
2025年3月 研修のふりかえり 来年度のキャリア形成計画立案

## 事業の様子



## 実施効果

自立援助ホームという現場は、虐待による迫害体験、貧困、発達障害、性被害など複合的で重篤な子どもと生活を共にしながら支援を行うことが求められる。自立援助ホームという組織の中で個人が働く以上、組織の一員として個人は「自立援助ホームが社員に期待する人材像」「自立援助ホームが社員に求めること」を正しく理解することが求められる。

今回の事業を通して、新採用スタッフが、「私たち自立援助ホームがどのような人材を求めているか」を知ってもらえることができた。

事業総額:

135,204円

補助金額:

135,204円

団体名:

特定非営利活動法人

青少年の自立を支える奈良の会

所在地:

奈良市芝辻町

3丁目5番19号

代表者:

理事長 浜田 進士

設立の目的:

自立援助が必要と思われる青少年に対して、義務教育終了後の自立を図るため、生活の基盤となる自立援助ホームを設立しその運営に必要な体制、後援体制の確立に関する事業を行うことで青少年の健全育成に寄与することを目的とする。

## 帯解駅前観光案内板の整備

## 帯解駅舎保存・活用の会

## 実施目的

駅舎の正面北東に立つ案内板は、昭和 45 年（1970）に、帯解地区社会福祉協議会・帯解郷土研究会を発起人として設置された。3 回目程度の改修を重ねて現在に至っているが、地図の劣化が激しく、また地図情報の更新も必要となっているため、帯解駅前観光案内板の整備を実施することを目的とする。

## 実施内容

- ・帯解駅前観光案内板の本体の更新
- ・帯解駅前観光案内板の地図の更新

## &lt;期間&gt;

2024 年 10 月 28 日～2025 年 1 月 15 日

## &lt;場所&gt;

帯解駅前

## &lt;対象&gt;

帯解駅訪問者

## &lt;スケジュール&gt;

- ・2024 年 10 月 28 日 帯解駅前観光案内板事業着手
- ・2024 年 11 月下旬 道路占用許可申請
- ・2024 年 12 月 13 日 観光案内板掲載地図情報確定
- ・2024 年 12 月 15 日 観光案内板制作用資材（柱・パネル等）準備完了
- ・2024 年 12 月 26 日 帯解駅前観光案内板設置完了

事業総額：

671,000円

補助金額：

190,000円

団体名：

帯解駅舎保存・活用の会

所在地：

奈良市今市町804

代表者：

代表 木原 勝彬

設立の目的

JR 帯解駅舎の保存・活用を行い、もって帯解地域の活性化及びまちづくりの貢献することを目的とする。

## 事業の様子



## 実施効果

- ・駅前観光案内板が更新され、劣化が解消された
- ・地図の情報が更新され、帯解駅来訪者が便利になった

## 石神古墳（奈良県指定史跡）の整備をととして里山の面白さを体験しよう

特定非営利活動法人 おおいわ結の里

## 実施目的

石神古墳からの吉野連山への眺望を妨げている周辺の樹木や竹林を『活用』して、地域の障がい者支援施設と連携した薪づくりや雑木を楳木としたシイタケの植菌体験、地域の伝統行事であるトンド焼きへの竹材の提供と参加、石神古墳を始めとする地域内に残る歴史的文化遺産（大淀町指定文化財）の見学会等、みんなが楽しみながら交流できるサステナブルな里山整備の仕組み構築を目的とする。

## 実施内容

- ・古墳への見学路補修（草刈りと石段の補修）
- ・古墳周辺の樹木の伐採と竹林の整備（薪とシイタケの原木、トンド焼きに活用）
- ・原木シイタケの植菌体験（作業後は芋煮ふるまい）
- ・石神古墳及び地域内の大淀町指定文化財等の見学会

## &lt;期間&gt;

2024年11月1日～2025年2月28日

## &lt;場所&gt;

奈良県吉野郡大淀町 大岩地内

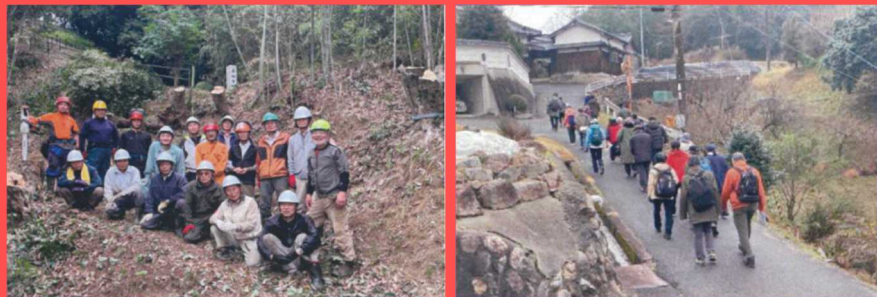
## &lt;対象&gt;

地域住民  
都市住民

## &lt;スケジュール&gt;

- ・2024年11月16日 古墳周辺の樹木伐採
- ・2024年12月13日 薪とシイタケの原木運び出し作業
- ・2024年12月23日 古墳周辺の竹林の整備
- ・2025年1月12日 トンドの組み立て作業
- ・2025年1月14日 トンド焼き
- ・2025年2月16日 おおいわ歴史ウォークと里山体験（椎茸の植菌体験と芋煮会）

## 事業の様子



## 実施効果

NPO 活動等団体支援助成金を活用することで、財政的な問題で手つかずであった古墳の環境整備をすることができた。また、地域の人口減少と高齢化で作業に参加できる人が限られている中で、当法人が呼びかけることによって、大岩地域の歴史的文化遺産や伝統行事の保存・継承活動に参加する人を増やすことができた。

事業総額：

193,262円

補助金額：

190,000円

団体名：

特定非営利活動法人  
おおいわ結の里

所在地：

吉野郡大淀町大岩  
688番地

代表者：

理事長 小西 正久

設立の目的：

活動地域の住民や地域を訪れる人々に対し、石神古墳の時代から今日まで連綿と受け継がれてきた、大岩地区が持つ魅力ある資源を活かした地域社会の活性化、地域福祉の向上に関する事業を行い、地域住民や中山間地域に第二のふるさとを求める都市部住民が手を携え、将来にわたり活力のある地域社会の形成に寄与することを目的とする。

## 子どもと本を楽しもう ブックトーク講習会

## カッキークラブ交流会

## 実施目的

本離れと言われる子ども達に、テーマを設定して本の紹介をしているが、更に読書の楽しさを伝えるため、県内外のおはなし会の方々と、読書推進に携わる人々の参加を募り、講師による講義を受けることで、県内外の子ども達の読書活動を皆で支援出来ることを目指す。

事業総額:

195,000円

補助金額:

190,000円

## 実施内容

子ども達に読書の楽しさを伝えるブックトークの講師の実演研修を実施し、現在行っているブックトーク活動のスキルアップを図る。

&lt;期間&gt;

2024年11月1日～2025年3月31日

&lt;場所&gt;

五條市市役所内1階大会議室

&lt;対象&gt;

県内外のおはなし会グループ及び市内小中学校の先生方やブックトークに興味のある方等

&lt;スケジュール&gt;

第1回

令和6年12月8日(日)13:00～15:00 講師 北畑博子さんによる講義

第2回

令和7年1月19日(日)13:00～15:00 講師 松本裕美子さん(JPIC 読書アドバイザー)による講義

第3回

令和7年3月17日(月)10:00～12:00 実践に対し講師松本真裕美さんによる講評

団体名:

カッキークラブ交流会

所在地:

五條市西吉野町茄子原  
628番地

代表者:

世話役代表 井田 栄子

設立の目的:

幅広い視野にたって、五條市の活性化を目指し、市内外の交流活動を展開することを目的とする。

## 事業の様子



## 実施効果

第一回講習会では本の紹介の順番、本の選び方、テーマの選択時の注意点について学び、第二回講習会では中学生対象の「命」をテーマにしたブックトークの実演見学後、実際に4グループに分かれてブックトークのテーマを決め、第3回講習会でテーマに合わせて持参した本を各自が紹介しながらブックトークの組み立てを考え、時間オーバーや本の見せ方などに注意しながら、実際にブックトークを行った。

アドバイスを受けながらブックトークを実際に体験することで、メンバー同士で注意することでより良い内容に仕上がって子ども達に、本を読みたくなる内容のブックトークを届けられるようにすることを学んだ。

## 子ども体験学びプロジェクト

特定非営利活動法人 大宮地区社会福祉協議会

## 実施目的

子どもたちや保護者と一緒に体験やアクティビティを通じて、子どもたちに学力だけではなく生きるための学びを応援することを目的とする。

## 実施内容

- ・クリスマスイルミネーション 点灯式、ミニパーティーに開催
- ・鹿寄せに行こう。鹿寄せの見学
- ・おはなマルシェ 体験型マルシェの開催

## &lt;期間&gt;

2024年12月10日～2025年3月31日

## &lt;場所&gt;

- ・クリスマスイルミネーション 大宮小学校中庭
- ・鹿寄せに行こう。 奈良公園飛火野と鹿苑
- ・おはなマルシェ ミナラ4階フリースペースとファミレス SOZAI

## &lt;対象&gt;

主に奈良市立大宮小学校の子どもたちとその兄弟、保護者。近隣地域の保育園、子ども園に在籍する子どもと保護者。

## &lt;スケジュール&gt;

|             |                        |
|-------------|------------------------|
| 2024年12月3日  | クリスマスイルミネーション参加募集お手紙配布 |
| 2024年12月11日 | 締め切り、人数集計、準備及び買い出し     |
| 2024年12月14日 | クリスマスイルミネーション飾り付け、点灯式  |
| 2024年12月25日 | ツリー片付け                 |
| 2025年2月2日   | 鹿寄せ参加募集お手紙配布           |
| 2025年2月10日  | 締め切り、人数集計、準備           |
| 2025年2月11日  | 鹿寄せに行く                 |
| 2025年3月4日   | おはなマルシェチラシ配布           |
| 2025年3月29日  | おはなマルシェ準備              |
| 2025年3月30日  | おはなマルシェ開催 10時～16時      |
| 2025年3月31日  | 片付け                    |

事業総額:

192,437円

補助金額:

190,000円

団体名:

特定非営利活動法人  
大宮地区社会福祉協議会

所在地:

奈良市三条大路一丁目  
8-23-205

代表者:

理事長 今西康乃

設立の目的:

活動地域の住民や団体に対して、地域福祉の向上、地域社会の活性化に関する事業を行い、住みよいまちづくりに寄与することを目的とする。

## 事業の様子



## 実施効果

130年以上続く伝統事業を体験することで、子ども達だけでなく保護者にとっても世界遺産のある奈良で生活していることを実感してもらえた。そして、慣れ親しんできた鹿の問題点を学ぶことができた。

また、おはなマルシェでは地域住民や子ども達、ボランティアが集い、プログラミング・工作・アナウンス・音響・模型作りなどの様々な学びの体験を通して、スタッフの中高生や大学生、ワークショップ講師や地域住民などたくさんの人とも触れ合い、地域の中で生活していることを子ども達も実感することができた。

## 少年の更生支援啓発事業

奈良家庭・少年友の会

## 実施目的

奈良家庭・少年友の会が取り組む具体的な活動内容を知らしめ、会員や学生ボランティアの研鑽によって専門性の高い研修を継続的に実施し、補導委託先及び少年に対する援助・付添、その他少年・家事事件に関連したボランティア活動を目的とする。

## 実施内容

①第33号会報誌を750部発刊し、当会員や協力先等に当該対象者に持参または発送。加えて当会のパンフレットを作製し関係団体等へ配布。②会員及び学生ボランティア等の知識向上の為講演会「少年院における矯正医療」を実施。③奈良家裁等からの要望に対して付添人活動はもとより、社会活動（奈良公園清掃、万引き被害を考える会、福祉施設での奉仕）、就労支援活動、少年に対する援助等を実施。

<期間>

2024年9月1日～2025年3月31日

<場所>

- ① 奈良家裁、県内の関係先等
- ② 奈良公園バスターミナルレクチャーホール
- ③ 奈良家裁、補導委託先、奈良公園等

<対象>

- ① 裁判所職員、奈良弁護士会弁護士等、当会会員、県内の一般の方々等
- ② 当会会員、学生ボランティア、奈良弁護士会弁護士等
- ③ 補導委託先、当該少年等

<スケジュール>

- ① 2024年9月19日当会パンフレット新規作製、10月6日当会関連図書「三淵嘉子と家庭裁判所」、「あらゆることは今起こる」、「続きと始まり」を会員候補先等に配布。11月22日第33号会報誌を発行、県内関係先に配布。
- ② 2025年3月4日「少年院における矯正医療」講演会の実施
- ③ 2024年9月18日、12月18日、2025年3月5日「万引き被害を考える教室」、2024年10月16日奈良公園清掃活動  
2024年12月2～4日、19～21日（奈良支部）サンタマリア利用者への介助等  
2025年2月17～19日、3月24～26日（葛城支部）サウス国見利用者への介助等

事業総額：

243,040円

補助金額：

190,000円

団体名：

奈良家庭・少年友の会

所在地：

奈良市登大路町 35

奈良家庭裁判所内

代表者：

会長 以呂免 義雄

設立の目的：

奈良家庭裁判所の行う家庭の平和の維持、少年の健全育成等の業務に寄与し、協力することを目的として、次の事業を行う。

- ① 補導委託先の充実及び委託少年の更生福祉に協力する事業
- ② 少年の教育的・保護的措置に協力する事業
- ③ 家庭及び少年の福祉に関する事業
- ④ その他、本会の目的に適合する支援事業

## 事業の様子



## 実施効果

- ・広報誌発行を通じた取り組みが県民へのアピールとなり、保護者や少年に対する非行防止に繋がられた。
- ・当会会員 41 名、学生ボランティア 2 名、協力組織 9 名、一般参加 6 名の総勢58名（前年比 24 名増）と多方面からのご参加をいただいた。
- ・毎年 4 月や 10 月、新規に会員や学生ボランティアの入退場が生じるため、計画的な研修を実施することによって、新人の諸活動への積極的な参加を促すだけでなく、補導委託先の新規開拓や特別賛助会員等の増加にも繋がっている。

## フードバンク体験の寄付事業

## 特定非営利活動法人 フードバンク奈良

## 実施目的

子ども食堂や生活が厳しい子育て家庭等を対象に食品を提供する活動を行っているが、生活が厳しい人たちは、食べるだけでなく、体験する機会も失われる傾向にある。そうした人や子ども食堂等の利用者に対し、体験する機会を提供することで、食べる楽しさを感じてもらおうと共に、自己肯定感を高めることを目的とする。

## 実施内容

## &lt;内容&gt;

みかん狩り体験を寄附する

## &lt;期間&gt;

2024年9月1日～2024年12月30日

## &lt;場所&gt;

三郷町の信貴山のどか村

## &lt;対象&gt;

子ども食堂や児童養護施設等のフードバンクの利用者約 200 人

## &lt;スケジュール&gt;

2024 年 9 月 信貴山のどか村に連絡、予約  
みかん狩りの参加者をメールで募集  
13 団体から約 200 名が応募

2024 年 10 月 信貴山のどか村の現地確認

2024 年 11 月 10 日 みかん狩りを実施

## 事業の様子



## 実施効果

子どもや障がいのある人たちが一緒にみかん狩りを行うことで、楽しい記憶を共有することができた。木に実っているミカンを自分の手でもいで食べることで、食べる楽しさを味わう“食育”につながった。

事業総額：

223,840円

補助金額：

223,840円

団体名：

特定非営利活動法人  
フードバンク奈良

所在地：

斑鳩町法隆寺西  
3-1-31

代表者：

代表理事 平川理恵

設立の目的：

市場に出すことができなくても、消費するには十分に安全な食品を企業や農家等から提供してもらい、福祉施設や生活困窮者に届けるフードバンクシステムを構築すると共に、社会の食品ロスの削減に向けた意識の醸成を図る。

## 「子ども図書館」開設式プロジェクト

特定非営利活動法人 チョウタリイの会

## 実施目的

文部科学省は、子どもたちの生活習慣や思いやりの心、規範意識の低下がいじめや不登校、自殺などの深刻な問題につながっていると指摘している。これを解決するためには、「心」や「人間力」を育む情操教育が重要であり、特に乳幼児期からの絵本の鑑賞や読み聞かせが効果的だと考えられる。絵本は子どもの心の安定や想像力、言語能力、感情の豊かさを育てる効果がある。当法人は絵本を中心とした「子ども図書室」を開設し、地域に周知して利用を促進することで、子どもたちの健全な成長といじめや不登校のない社会の実現を目指す。

## 実施内容

## &lt;内容&gt;

フルート奏者による演奏、絵本専門士による絵本の読み聞かせ、当法人の海外協力活動（ネパールの公立学校での E-ライブラリ開設における現地の教師、子ども達からのビデオレター）の上映等による図書室についての講話。

## &lt;期間&gt;

2024年12月5日～2025年2月22日、令和7年2月22日（土）14時～16時

## &lt;場所&gt;

当法人エデュケーションセンター（奈良市あやめ池南五丁目1番1号）

## &lt;対象&gt;

地域のこども（特に孤立、引きこもりがちな子ども、不登校児）その保護者等

## &lt;スケジュール&gt;

|          |                                                                         |
|----------|-------------------------------------------------------------------------|
| 2024年12月 | 書籍（絵本）購入<br>フルート奏者への演奏依頼<br>絵本専門士への出演依頼                                 |
| 2025年1月  | 告知のためのチラシの製作及び配布<br>本棚、テーブル、クッション、バスケット（かご）の購入                          |
| 2025年2月  | 書籍の整理<br>消毒液・ハンドソープ購入<br>会場の整備<br>「元気子ども図書室」開設式の開催<br>当プロジェクトの実績報告書等の作成 |

事業総額：

291,406円

補助金額：

285,000円

団体名：

特定非営利活動法人  
チョウタリイの会

所在地：

奈良市あやめ池南五丁目  
1番1号

代表者：

代表理事 山口 悦子

設立の目的：

社会的に困難な状況にある人たちやその家族、その地域などに対し、教育、自立、保健などの支援、その他必要と思われる支援及び協力を行い、また国際交流や市民への啓発活動などを通して、貧困、格差、地域環境などの社会における様々な問題の解決に取り組み、子ども達が、未来において希望を持ち「生まれてきてよかった」と思うことの出来る平和で公正は国際社会の実現に寄与することを目的とする。

## 事業の様子



## 実施効果

子ども図書館の開設式には地域の関係者や協議会の会長、社会福祉協議会の職員など 35 人が参加したが、不審者情報の影響で子どもの参加は 1 人にとどまった。開設式では、当法人代表が過去の地域支援活動を紹介し、子どもの居場所としての図書館の必要性を説明。フルート演奏や絵本読み聞かせて情操教育の大切さを実感してもらった。また、ネパールでのデジタル図書館設置活動のビデオ上映を通じて、図書館の役割や読書の重要性、「心」や「人間力」を育む情操教育の価値を参加者に理解してもらった。